

# 石川研究室の研究成果が紹介されました！

山陽新聞 2009年（平成21年）7月24日

## タミフル新合成法

安価原料から  
岡山大准教授ら 安定製薬へ注目



石川彰彦准教授

た。天候に収量が左右されやすく高価な植物原料のシキミ酸を使わず、安定的な製薬につながる注目される。

岡山大大学院教育工学部（有機合成化学）の研究グループは23日、抗インフルエンザ薬タミフルの成分を、豊富で安価な工業原料などから合成する方法を開発したと発表し

岡山大大学院教育工学部（有機合成化学）の研究グループは23日、抗インフルエンザ薬タミフルの成分を、豊富で安価な工業原料などから合成する方法を開発したと発表し

岡山大大学院教育工学部（有機合成化学）の研究グループは23日、抗インフルエンザ薬タミフルの成分を、豊富で安価な工業原料などから合成する方法を開発したと発表し

「酒石酸」が原料の合成法（9工程）も確立。6月には特許を出願した。

合成効率はロシュ社製法の3分の1だが、2種類の原料価格はシキミ酸の数百分の1と安価で「安定的な量産体制を築くことは十分に可能なレベル」（石川准教授）という。

タミフルは、ロシュ社の関連特許が切れる2020年以降は後発医薬品として製造が可能になるが、実用化には企業などの大型プラントで数年間の実証実験が必要。石川准教授は「毒性の強い反応剤などは使っていないた

め、安全性も高い手法だ」としている。同様の研究は東京大など国内外で取り組まれており、石川准教授らは鳥インフルエンザが流行した3年前に着手。論文は米専門誌に投稿する予定。

（内田圭助）

### 既修者選抜試験 来年度から2回

岡山大法科大学院

岡山大は23日、これまで年1回だった法科大学院の法学既修者

（2年修了希望者）選抜試験を、2010年度から前期と後期の2回に分けて行う、と発表した。受験機会を増やすことでより優秀な学生を確保する狙い。

前期は定員10人で、試験日は9月27日。後期は定員5人で試験日は11月21日の予定。試験科目は小論文がかなり、適性試験と法